

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 大谷 和雄  
幹事 池田 隆  
会報委員長 浅井 誠寿

No. 19

まことの幸福は人助けから

REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS

1992~93年度 RI会長 クリフォード・L・ダクターマン

## 第504回例会平成4年12月1日(火)曇/雨

- ◇ “君が代”
- ◇ “それでこそロータリー”
- ◇ 出席報告  
 会員 70(67)名 出席52名  
 出席率 77.61%  
 前回 11月24日 (修正出席率) 100%
- ◇ ビジター紹介 5名
- ◇ お誕生日祝福  
 松居君(11/25)、長門君(12/1)、林夫人(12/4)、  
 西村夫人(12/6)、木全君(12/7)
- ◇ ニコボックス  
 浅井 誠寿君 新入会員塩澤君夫氏をご紹介  
 いたします。  
 塩澤 君夫君 本日より入会させていただきます。  
 小杉 啓彰君 早退します。  
 三輪 康君 ホームクラブご無沙汰しています。  
 木全 昭二君、松居 敬二君、長門 保明君  
 誕生日祝い。  
 林 淳三君、西村 禎二君 夫人誕生日祝い。
- ◇ 池田幹事報告  
 1. 本日例会終了後、年次総会を開催いたし  
 ますので、会員の方はそのままお残り下さい。
- ◇ 新入会員紹介



氏名 塩澤 君夫君  
 生年月日 大正13年1月7日  
 事業所 愛知県立大学  
 瑞穂区高田町3-28  
 TEL 851-2191

地位 学長  
 自宅 昭和区前山町1-50  
 推薦者 浅井 誠寿  
 職業分類 大学(経済学)  
 委員会 親睦活動

### ◇石黒ロータリー財団委員長

ロータリー財団月間は11月でしたが色々な  
 行事におさまして本日皆様方のお手元に寄  
 付ご案内を入れさせていただきました。

皆様方の友情と熱意を金額の中に表現して  
 頂ければと思います。寄付というのは、あく  
 までも個人の意志でありますので、このよう  
 にリストアップされると他人と比較されてい  
 るように受けられるかもしれませんが、自分  
 のお考えの中でたくさんして下さいれば結構で  
 すのでご協力お願いします。

### ◇大谷会長挨拶

万葉歌の謎

「ロータリーの友」9月号、卓話の泉に「壬  
 申の乱」についての記事がありました。今年  
 が「壬申(みずのえさる)」だからでしょう。  
 672年、天智天皇の御子、大友皇子と同天皇の  
 実弟大海人(おおあま)皇子との間に皇位継承  
 の争が起り、大友皇子は自害、大海人皇子  
 が翌年正月、天武天皇として即位されます。  
 この天皇兄弟の葛藤に「額田王(ぬかたのおお  
 きみ)」という美貌の才媛がからみます。はじめ  
 大海人皇子と結婚して十市皇女を生み、のち  
 に天智天皇の妃となります。

天智天皇の7年、蒲生野で狩をなさったと  
 きに、額田王の作った歌

あかねさす ちはさきのゆき しめのゆき  
 西草指 武良前野遊 標野行  
 のもりほみすゆ きみがそでふる  
 野守者不見哉 君之袖布流

これに答えた皇太子の御歌

むらさきの じほへるいもを にくくあらば  
紫草能 尔保敵類妹乎 尔苦久有著  
ひとづまゆえに あれこひめやち  
人婦故尔 吾恋自八方

という歌が万葉集にあります。

◇講演

“Study in Japan”

米山奨学生 孫 宏業君



私が外国人学生として日本で勉強することになったのは、1989年のことです。でも勉強したいと思い始めたのは、17年前のことなのです。小学生の時私は幸運にも、私達の学校を訪問してきた何人かの日本人に出会いました。そのとき彼らにプレゼントとして私の書いた習字の作品をあげたのです。

小さいときから日本について祖父から聞いて知っていました。祖父は1930年代に北京大学を卒業してから、中国の中学校でたくさんの日本人を教えていたからです。学生達は祖父に何回となく日本を訪ねてほしいと頼んだのですが、高齢だったため日本に行くことができなく、3年前に癌で亡くなりました。このようないきさつで、私は日本にきて勉強し、この目で日本をみようとして決心したのです。実際の日本での勉強と生活は、私が想像していたものと違っていました。挨拶がとても複雑ですし、毎日ハードスケジュールだし、物価もとても高いのです。特に、私は勉強のほかに学費をはらうためにアルバイトをしなくてはいけませんでした。中国人が日本で英語を教えるなんて、想像出来ないかも知れませんがそれを私はやったのです。でもそのお陰で私は幾人かの日本人とも友達になれました。彼らから私は自分の専門外のことをいろいろ学びました。

日本人は大変勤勉だということはよく知られていることですが、何でも細かく決められた計画にしたがって事がなされます。こういうことが日本を経済大国にした所以かもしれません。こんな事はめったに他の国では見られないことです。いくつかの点で日本も中国も大きな国です。私達は、日本人と中国人との間でもっと相互の理解を深めるために、コミュニケーションを大いにはかるようにしなければならぬと思います。

◇地区大会報告

今西 幸一君

さる11月22日～24日迄瀬戸ロータリークラブをホストに地区大会が行われましたが、私は23日瀬戸市体育館へ出席してまいりました。さて、神戸ガバナーの点鐘ではじまり、R I 会長代理のメッセージ、次期ガバナーの紹介、ガバナーノミニの紹介、来賓として鈴木愛知県知事、瀬戸井上市長の祝辞のあとインターアクトクラブ、ローターアクトクラブの紹介、昼食休憩後ロシアの政治情勢に精通された方で、寺谷弘壬氏の記念講演会が行われました。最後に次期大会開催の岡崎南RCの挨拶がありました。最も印象深かったのはR I 会長代理吉田盛次氏のお話で、スライドを見ながらの代理挨拶でした。「まことの幸福は人助けから」のテーマの実践に際してのR I 会長からのメッセージは格調高いものでした。又会場には万人を越すロータリアンが集い圧倒されました。以上簡単ですが、報告にかえさせていただきます。有難うございました。

雑誌の窓

ロータリーの友10月号友愛の広場に「九十二歳でロータリアンに」という一文があります。宮城県岩出山RCの新入会員のことで、その人は、もと高校校長や地方事務所長をし、定年退職後自ら幼稚園を創設して園長をしている大内順男先生であります。例会でスピーチを頼まれ、スピーチが終わった後、大内先生はロータリークラブに入会したいと表明されたのであります。突然のことで、会員一同シュンとして声なく…まもなく破れるような拍手がわき起こりました。現役の教育者で色々の会合にも積極的に参加している先生の人間パワーに敬服のほかないというのであります。私は目の前が明るくなり、心暖かな感じを受けました。

また、11月号友愛の広場の「心に残る言葉」を読み、小学生の時のふとした出来心に端を発し、その後ずっと不正について考え続け、祖母の「陰徳を責め」という言葉を教えてくれたことを心銘じているロータリアンに心打たれました。御一読いただけたらと思います。

担当 西川 豊長君

お詫び

当初2月に予定しておりました10周年記念誌発刊は、写真等資料の集まりが遅れた為4月頃となりますのでよろしくお願ひします。

10周年記念誌委員会

◇次回例会（12月8日）

講演 “10年のロータリーを顧みる”

会員 菊池 昭元君

◇次々回例会（12月17日）

年末会員・家族懇親会

（ホテルナゴヤキャスルにて18:00より）